



▲上平港から産島へ海を渡る神輿

神輿が波に揺られて海を渡る

産島八幡宮例祭

10月27・28日、河浦町宮野河内の上平地区で市無形民俗文化財にも指定されている「産島八幡宮例祭」が行われました。この祭りは、初日に同地区の無人島・産島にある産島八幡宮から神輿を船に乗せ上平港まで運ぶ“お下り”があり、上平十五社宮に一晩奉られたあと、2日目の“お上り”で同島へ帰るといふもので、“海を渡る祭礼”として広く知られています。

両日は、大漁旗を掲げた船団による神幸行列や、色鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちによる太鼓踊り、獅子舞などが行われ、多くの見物客でにぎわいを見せていました。

▶太鼓踊りを披露する子どもたち



秋の夜長に笑顔いっぱい!

文化・芸能の祭典2012

10月20日、「文化・芸能の祭典2012」が有明町の楠浦体育館で開かれました。村祭り演芸会実行委員会と楠浦地区振興会が、秋の夜長を楽しんでもらおうと楠浦神社の例祭にあわせて実施しているもの。地区住民によるバザーをはじめ、ステージでは保育園児や地区内外の住民による歌や踊りが披露されました。最後には、お楽しみ抽選会やもち投げが行われ、来場者は笑顔で楽しいひとときを過ごしていました。



▲楽しく踊る健康ダンスクラブの皆さん

地域の祭りが7年ぶりに復活

鬼んびっく

10月28日、五和町の鬼の城公園一帯で「鬼んびっく」が開催されました。市商工会青年部五和支部が、五和町の地域おこしのために7年ぶりに実施したものです。催しでは、先着100人に鬼アゲと銘打った揚げたてのガネアゲがプレゼントされたほか、天草のゆるキャラとの記念撮影会や琉球國祭り太鼓、長洲つもりライブショーなどが行われました。また、鬼ネスステージでは、ストラップ鬼アウト、フリー鬼ック、フリースローなども行われ、来場者は秋の1日を満喫していました。



▲フリースローにチャレンジする参加者

県下最大級の陶磁器展に多くの人出!

天草大陶磁器展

11月1日から同5日まで、県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が天草市民センター特設会場を主会場に開かれました。催しでは、天草地域をはじめ県内外から82の窯元や陶芸家などの作品約20,000点が展示・販売されたほか、ろくろ・絵付け体験や“陶磁器の島AMAKUSA陶芸展”の応募作品の展示と表彰式を実施（結果は下表参照）。

また、天草宝島国際交流会館ポルト周辺では、市出身のアーティストによる里帰り展や、市内外の作家が空き店舗を使って個展などを開く「街中ギャラリー」も開催され、期間中は県内外から多くの人出でにぎわいました。



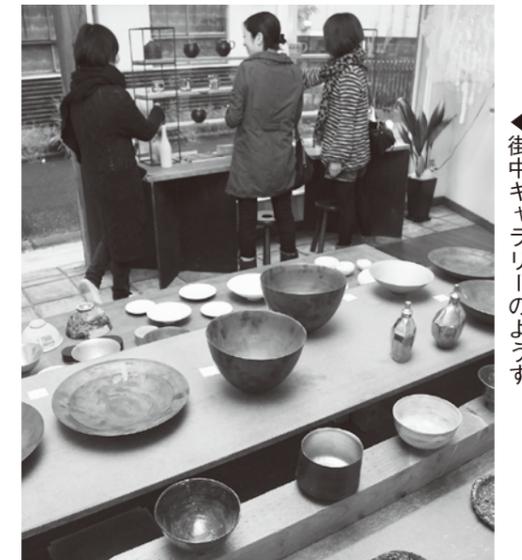
▲ずらりと並んだ陶磁器を見る来場者



◀街中ギャラリーのようす



▲ろくろ体験のようす



▲グランプリ作品 (PIPE WARE)

陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果（敬称略）

- グランプリ…松田唯（船之尾町）●準グランプリ…金澤宏紀（船之尾町）●日比野克彦賞…山下太（阿蘇市）●小川哲男賞…岡部俊郎（本渡町本戸馬場）●藤原恵洋賞…山口耕三（玉名郡長洲町）●鶴田一郎賞…木野智史（京都府西京区）●鯉江良二賞…鷹巣翔（佐賀県武雄市）●来場者賞…六平（佐賀県武雄市）